

平常時と非常時の『個人情報』の取り扱い

～豊寿園職員研修会「個人情報保護・プライバシー保護」～

2月14日（月）大分県社会福祉協議会 森 美菜子氏を講師に迎え、職員向けの「個人情報保護・プライバシー保護」について研修会を実施しました。日々の業務中（平常時）の個人情報の取り扱い、緊急時や災害時（非常時）の個人情報の取り扱いが異なることなどを講義していただきました。いずれにしても、入所者や対象者（避難者・要配慮者）、職員自身の不利益にならないよう、普段から職員が意識して、業務にあたるのが重要であることを再認識する機会となりました。



- ★個人情報とは…？ 「あの人のことだ！」と特定の個人を識別できるもの
- ★利用目的と第三者提供 「何に使うのか」を明確にし、「勝手に提供しない」ことが 大切（本人の同意が必要）
- ★災害時の個人情報 緊急性が高いので本人の同意がなくても 提供・共有が可能。 必要最小限の情報にして事前の話し合いがとても大切

※ 新型コロナウイルス感染症対策として換気、手種消毒、不織布マスク2枚重ね等を徹底しています。